

第2号

連携教育通信

令和5年8月24日
中野区教育委員会指導室
就学前教育推進担当
中野区中野4-8-1
中野区役所 5階
電話 03(3228)5589

「保育園と幼稚園と小学校との連絡協議会」特集

6月13日・20日(火)、保育園と幼稚園と小学校との連絡協議会を開催しました。

それぞれのブロックの会場の小学校に多くの就学前施設・小学校・中学校の教職員が集い、協議が行われました。今年度の担当は幼稚園でした。

今年度は事前に、幼稚園の公開保育、協議会当日に会場小学校の授業参観も行われ、子どもたちの様子がより具体的になった上での協議ができました。

<参加人数>

	保育園	幼稚園 こども園	小学校	中学校	ブロック別 合計
第1ブロック 中野本郷小学校	25人	32人	15人	4人	76人
第2ブロック 桃園第二小学校	44人	47人	23人	3人	117人
第3ブロック 江原小学校	40人	32人	21人	4人	97人
第4ブロック 啓明小学校	35人	35人	29人	4人	103人
施設別合計	144人	146人	88人	15人	393人

<基調提案> 【子どもたちの自尊感情や自己肯定感を高めるために】

前半は、参加者が一同に会して担当幼稚園の基調提案、それに基づく子どもたちの映像を視聴しました。そして後半は、グループに分かれて協議を行いました。保幼小中の教職員が入り交じって10名程度で構成されたグループで話を進めました。グループの司会者がテーマを基に自園の事例を報告し、参加者それぞれが取組を情報交換しながら、子どもたちの自尊感情・自己肯定感を高めるために必要な経験や指導について話し合い、発達に応じた教育に理解を深めるとともに、教育の接続という側面において大切なことについても協議を深めていきました。

日頃交流がなかなかできない保育園・幼稚園・小学校・中学校のお互いの様子や考え、取組を知ることによって子どもたちの15年間の学びにつながっていることを確信していました。



<幼稚園公開保育>

協議会前の5月末～6月中旬、中野区内の幼稚園全園が公開保育を実施しました。入り口を入ると子どもたちの笑い声が聞こえ、見学者もついつい笑顔になりました。それぞれの園の特色がありますが、幼稚園全体がお家のように、どこにも子どもたちがいます。それぞれの遊びや意欲を大切にしていることが感じられました。困った時には近くにいる大人に「ヘルプ」を出せば助けてくれることも経験から身につけているように思いました。見学者にも忌憚なく「ちょっとてつだって～」と声をかけてきたり、「ようちえん、あんないしてあげる」と言ってくれたりすることもありました。

経験してほしい活動は個別に対応し、その子のペースで活動を進めている姿も見られました。

見学に来られた小学校の先生が「子どもたちが生き生きと過ごしていますね」と話されていました。



<小学校 授業参観>

会場小学校、4校とも授業参観を行っていただきました。参観可能な学年は全学年でした。保育園・幼稚園との連携なので、1・2年生のみでよいのではという意見もありましたが、保幼小中の連携で中学校への接続期は5・6年生なので、全学年にという会場小学校の意向で全学年授業参観可能になりました。就学前施設の職員にとっては、3年生以上の授業参観はあまり機会がないので、自園を卒園した子どもたちの成長に感慨深い様子でした。iPadを使った授業にも興味津々でした。

子どもたちの姿を目の当たりにして協議会に向かったのが、より協議がもりあがったように思います。

